社会福祉法人あいの土山福祉会エーデル土山

『BCP策定＆設備管理室の取組』

第 42 回　国際福祉機器展H.C.R2015　東京ビッグサイト　2015.10.7（水）

設備管理室　　宇田　和弘

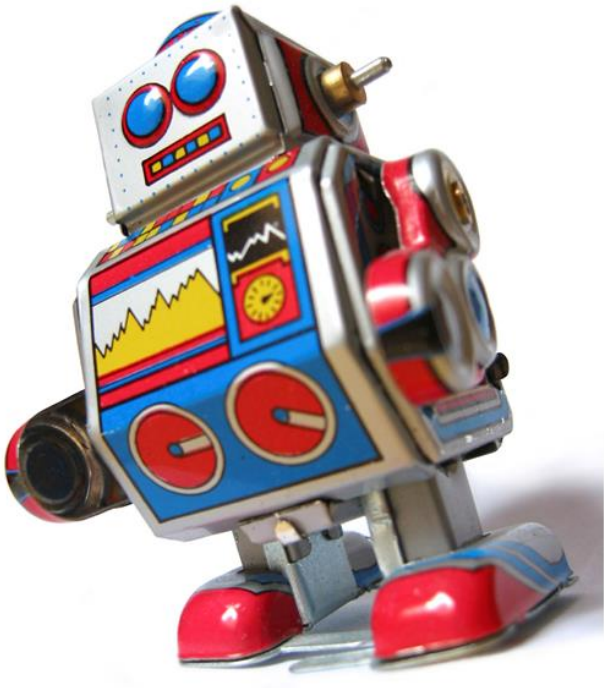
Text By　　Kazuhiro Uda

Edel tutiyama.

Copyright 2015©Edel tutiyama All Rights Reserved.

ＢＣＰを策定しよう

ＢＣＰとは『事業継続計画』のことで、災害や事故等が発生しても損傷を最小限に抑え、事業を継続させていくための具体的な計画です。
福祉施設等の入所施設では、24Ｈ×365 日稼働が基本であり、如何なる災害が発生しても、事業を継続させる使命が各事業所には求められます。
ＢＣＰを作るという作業は、本当に大変な労力を要します。まずどこから手を付けてよいかわからない。そしてありとあらゆることを想定しなければならない。例えば深夜に大震災が起こって職員が負傷で近隣は壊滅的でライフラインは完全に途絶え・・・といったような過酷な状況下をイメージし、そこからいかに復旧するかを検討しなければならないわけです。また適当な計画を策定しても、実際の災害時に使えなければ意味はありません。たたき台を作り、シュミレーションし、またたたき台を作るというハードな作業を繰り返し、一定の成果が出来ました。今回は、福祉施設においてどこからＢＣＰを作っていいかわからないという防災担当者の方に参考になるよう、当方のＢＣＰの内容について説明していきたいと思います。



設備管理室の設置

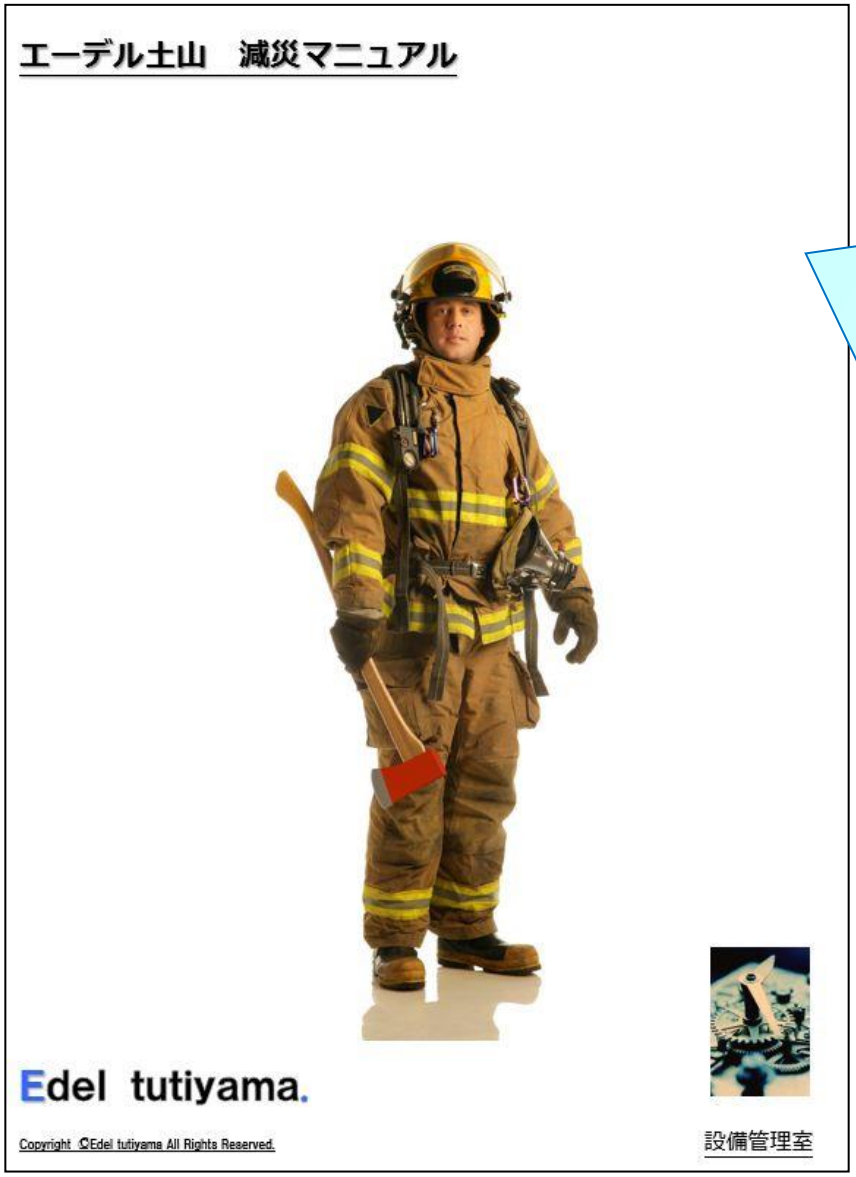
設備管理室とは、当方に設置している『設備・防災に関するプロジェクトチーム』の名称です。
設備トラブル対応や、設備更新計画、備蓄の整備などと共に、ＢＣＰの策定にもあたりました。

設備管理室のポイント

メンバー：事務局長／部長／課長／各セクションから１名
開催頻度：毎月１回
協議内容：設備点検パトロール、減災に関すること
新設備更新計画、予算計上、備蓄管理
エネルギー節約、災害研修企画 etc

エーデル土山の減災マニュアル

まず、エーデル土山の災害に対する考え方の基本として『減災』というキーワードが挙げられます。災害を完全に防ぐことは困難であり、起こり得る災害に対していかに損傷を減らすかという部分に注力していく考え方です。



『エーデル土山減災マニュアル』

減災をキーワードに・・

- 具体的で実践可能なマニュアル
- 自分たちで守るという視点
- 地域の防災拠点
- ＢＣＰ発動に関すること

以上を中心にまとめたマニュアル

作成時に特に配慮した点

- ７日間の食糧備蓄確保
（利用者・スタッフ・避難民分）
- 自施設の弱い部分を分析し、当該部分を補強するための防災用品を購入
- 写真を多様し、非常用水の確保や設備トラブル時の対応について誰が見ても分かりやすく対応できるように配慮。

『独自の災害レベル』

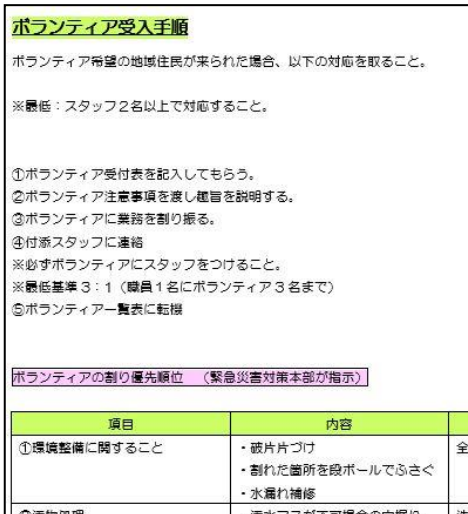
- 台風、水害、地震の災害ごとに災害レベルを設け、対応をどうするのかを明確化しています。

例：震度６強以上でレベル４
　　ＢＣＰ発動
　　災害出勤規程稼働

『減災マニュアルの一例』

・写真を多様し対応方法を具体的に示すことで、誰でも対応可能なように配慮しています。

※特に非常用水の確保や備蓄品の保管場所などは、写真掲載で明確に記載しておかないと有事の際に非常に手間がかかることになります。



ボランティア受入手順

ボランティア希望の地域住民が来られた場合、以下の対応を取ること。

※最低：スタッフ2名以上で対応すること。

①ボランティア受付表を記入してもらう。
②ボランティア注意事項を渡し趣旨を説明する。
③ボランティアに業務を割り振る。
④付添スタッフに連絡
※必ずボランティアにスタッフをつけること。
※最低基準３：１（職員１名にボランティア３名まで）
⑤ボランティア一覧表に転機

ボランティアの割り振り優先順位　（緊急災害対策本部が指示）

項目	内容	場所
①環境整備に関すること	・破片片づけ ・割れた箇所を段ボールでふさぐ ・水漏れ補修	全体
②汚物処理	・汚水マスが不可場合の穴掘り ・Ｐトイレの清掃	洗濯室前空地 いきいき横駐車場
③食事提供に関すること	・食事を配膳 ・食器洗浄	食堂 厨房
④見守りに関すること	・利用者の見守り	全体
⑤話し相手	・利用者の話相手	全体
⑥生活用水の確保	・タンクまで水を取りに行く ・地下水のくみ上げ	従来型／ユニット型タンク
⑦その他	・避難住民の受入手伝い ・リネンの対応 ・ゴミ収集、ゴミ出し	災害対策本部

緊急時　病院搬送取扱書

利用者緊急レベルⅢ以上を搬送

カテゴリ		POINT／留意点
搬送利用者	□利用者緊急タグの『レベルⅢ』の利用者から搬送。	避難場所において、レベルⅢ以上の利用者に集まってもらっておく。
付添者	□看護職員・生活相談員・管理職のいずれかが付添う □複数の病院搬送者が存在する場合、１名は病院に待期。搬送スタッフは、看護師、相談員以外でも可。	複数者にわたり病院搬送者がいる場合、病院に１名のスタッフが在駐し、他１名のスタッフがピストン搬送する。
送迎車両	□車椅子搬送可能→ゼスト □座位不可→キャラバン □複数者の搬送→キャラバン	
必要物品	□保険証 □ケース記録 □臥床者緊急タグ □法人の携帯電話	
病院での対応	□電話が不通の場合は、病院駐留スタッフが搬送スタッフと口頭連絡する。 □搬送スタッフは緊急災害対策本部に病院の状況を報告する。	病院も相当混乱が予想されることから、１名が在駐する。
家族への連絡	□電話が繋がり、家族が病院に来た場合は家族対応に切替る。 □電話が不通の場合は緊急災害対策本部からコールを繰り返す。 □契約者のメールにも状況を伝える。	

『予め決めておくことの重要性』

・ボランティアの受入手順や、有時の際の病院搬送の取り扱いなど、決められることは予め『具体的』に決めておきましょう。

・避難方法の内容、ボランティアの割振り内容、ボランティア注意啓発文書など緊急時に必要な書類は整備しておきます。

ＢＣＰについて（災害シナリオ）

『災害シナリオ』
ＢＣＰのメインとなる災害シナリオ。
①被災経過時間　②対応すべきこと　③対応者
④ポイント留意点　⑤参考資料　⑥出勤予測人数
を一覧表にしておく。この様式を使うことにより頭の整理が進み、ＢＣＰを一挙に作成することが出来る。減災マニュアルとリンクさせている。

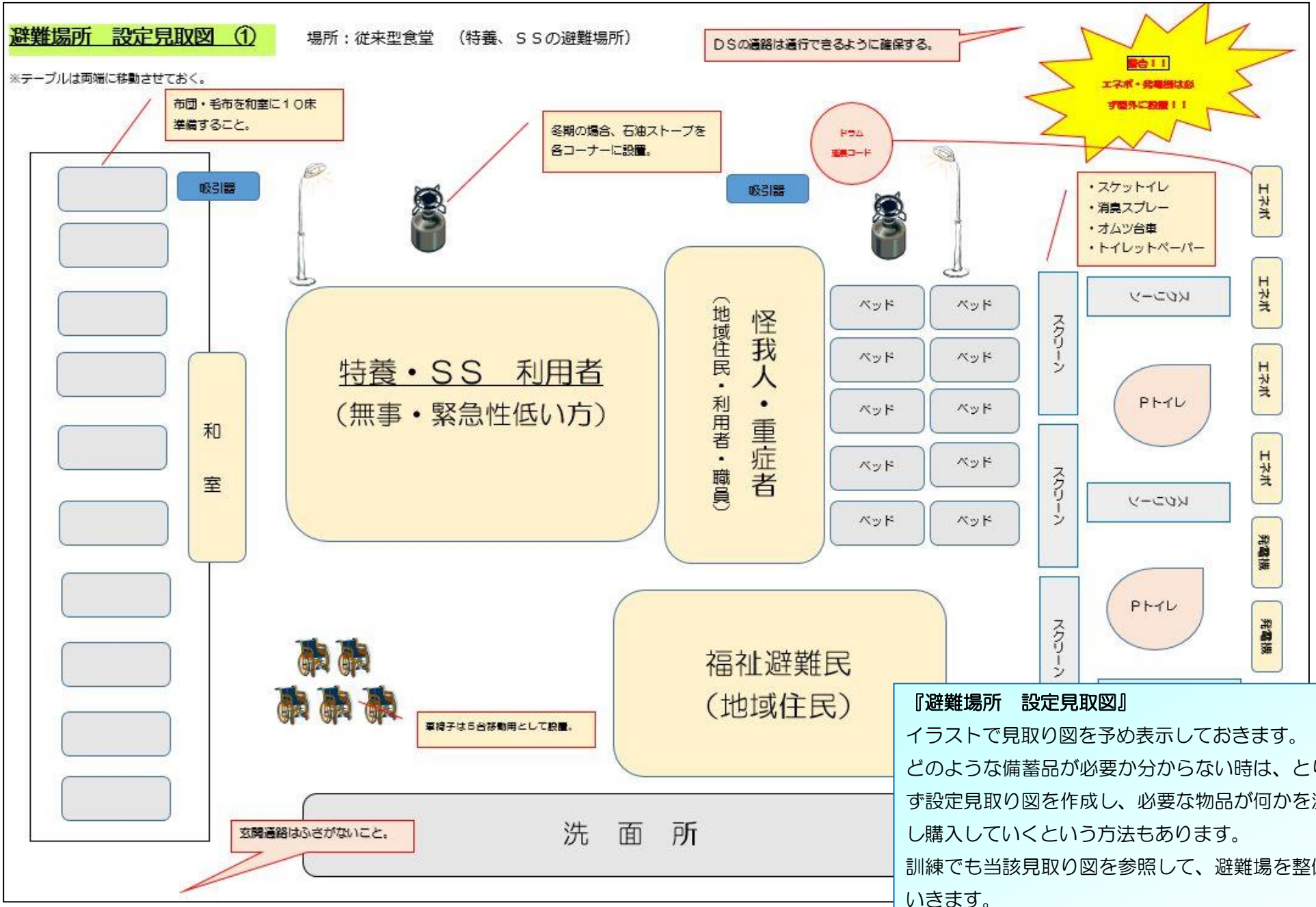
発生直後～発生１ヶ月までのシナリオを策定済み。

セクション名：緊急災害対策本部

発生４時間後

時間軸	対応すべきこと　[優先順位順]	対応者	ポイント・留意点		
４時間以内	【1日分の飲用水を従来型食堂まで運搬】 ロペットボトル（水）を従来型食堂まで運ぶ。	夜勤ワーカー1名	・飲用水は１人１日３ℓ目安 ・利用者70人×3L/日　105本/日　17箱 ・必ず室内で保管。 （冬季で凍結防止の為、また、夏季で高温になる恐れがあるため） ※空いたペットボトルは再利用するので捨てない。		・宿直１名 ・夜勤４名 ・１０名 （土山町在住者）
	【飲用用水確保】 ロポリタンク２０個を集める（ユニット型地下倉庫内） ※キャラバン等使用のこと。 ロ従来型、ユニット型タンクから水を汲みとる ロポリタンクに入れた水を厨房まで持ってくる。	スタッフ ２名程度	優先順位 ①従来型タンク　②ユニット型タンク ※タンクの水は残留塩素が低いため『飲用』に使用する。 ※タンクの水を排泄等の生活用水には使用しないこと。	減災マニュアルP 【非常用水の確保】参照	
	【生活用水確保】 ロポリタンク、従来型倉庫から小型ポンプ、各ワーカー室からエネポを中庭（渡り廊下）まで持ってくる。 ロエネポを起動させ、ポンプと繋ぐ。 ロ特養中庭地下水をくみ上げる。 生活用水が一定確保できた場合、以下のタンク式水洗トイレを使用する。 ・２－７前トイレ（０８トイレ） ・生活支援ハウス各居室トイレ ・生活支援ハウス相談室トイレ ・ユニット型ワーカー室トイレ	スタッフ ２名程度	③中庭地下水 	減災マニュアルP 【非常用水の確保】参照	
	【厨房内の清掃と食材確認】 ロ厨房の生もの、冷凍食品、生鮮食品を確認する。 ロ食材を調理できるよう必要最小限で用具・設備を整頓する。	夜勤ワーカー1名	POINT 食糧備蓄は、『毎食後』に毎回確認し、緊急災害対策本部に提出。	食糧備蓄一覧表 （マニュアルP　）	

避難場所　設定見取図



『避難場所　設定見取図』

イラストで見取り図を予め表示しておきます。

どのような備蓄品が必要か分からない時は、とりあえず設定見取り図を作成し、必要な物品が何かを洗い出し購入していくという方法もあります。

訓練でも当該見取り図を参照して、避難場を整備していきます。

人員招集について

法人では大規模な災害についてマニュアル整備しているが、地域全体が被災するような大規模な災害時には、被災した利用者のケアに当たる職員不足が懸念されます。また通信手段が不通になることを想定し、「災害時緊急出勤基準」を以下のように定めます。地域全体が大きな被害を受けた時、私たち地域福祉の担い手である福祉事業者は要介護の高齢者や障害者に対してケアを継続するという大きな使命を持っています。趣旨をご理解の上、業務について頂くようお願いします。

①災害時緊急出勤の基準

休日中の職員を対象としています。勤務中や出勤予定の者は以下の基準とは関係なしに出勤義務あり。

	管理職	役職者/看護師/相談員（非常勤含む）	一般職員（常勤に限る）
震度6以上（レベル③以上）	職場からの連絡がなくても緊急出勤する。	法人からの指示・連絡がなくても緊急出勤	法人からの指示・連絡がなくても緊急出勤
震度5強（レベル②）	職場からの連絡がなくても緊急出勤する。施設をチェックし必要時は職員に出勤指示発令	法人からの指示・連絡があれば緊急出勤	法人からの指示・連絡があれば緊急出勤
震度5弱以下（レベル①）	職場に連絡をとり必要と判断した場合のみ出勤する。	法人からの指示・連絡があれば緊急出勤	出勤の必要なし
対象外職員（一般職） 看護師と相談員を除く	但し、**以下の状態にある一般職員**は対象外とします。（「家族」とは同居の親族とします。） ①職員自身若しくは家族が負傷している場合。 ②自宅建物が被災し危険な状態にある場合。 ③中学生以下の家族が自宅にいて、他に保護する家族がいない場合。 ④小学校就学児童の家族の所在が不明でかつ連絡が取れない場合。 ⑤職員自身が外出先で帰宅難民にな ※家族が負傷している場合や自宅被		

②家族を連れて出勤することの可否

大災害で、家族の安全が確保できない場合で出勤が躊

『スタッフ　人員招集基準』

災害時に職員に救急要請を行うことは、通信網の混乱により困難なことがあります。出勤基準、規程を設け自動的に出勤させる形をとっておくことが必要です。

O P E N !

『スタッフ出勤規程カード』

- 出勤規程をカードにしている。
- 全スタッフに配布。
- 財布等に入るサイズにしておき見開きでルールを説明。

その他の工夫

メール一括配信

・緊急時の連絡ツールとしてスタッフへの一括送信を導入しています。
・台風や積雪の際の出勤状況についても活用しています。

介護スタッフ災害特別勤務表

・緊急時にシフト調整することが難しいことを想定し、通常から常にシフトに災害対応の記号[A～D]を明記。通常の勤務が困難な場合、特別勤務表に切り替えます。

『災害特別勤務表』
・普段のシフトから記号を明記。
・A～Dごとの対応方法を予め決めておき、緊急対応を行う。

	初日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
日勤 8:30～17:30	A	D	C	B	A	D	C
遅出 14:00～23:00	B	A	D	C	B	A	D
夜勤 23:00～8:30	C	B	A	D	C	B	A
公休	D	C	B	A	D	C	B

ＳＮＳ／ＱＲコードの多様

・法人の災害専門のＳＮＳ（ツイッター、フェイスブック）をスタッフに登録させています。
・メールや電話が使えない時は利用できます。
・ＱＲコードも多様することで、連絡を繋がりやすいよう配慮しました。

備蓄はサバイバルフーズを基本とする

・サバイバルフーズの利点は、25 年間の長期保存が可能な点です。
・また災害時には、湯や水をかけるだけでシチューになるという手軽さも災害時には有効です。
・100 人×1 週間分を備蓄整備しました。

まだまだＢＣＰは未完です。。。

以上、当方のＢＣＰの取組を説明してきましたが、どこまで整備しても完璧だということはあり得ないでしょう。それは自然災害において人間の力はたかが知れているからです。しかし、だからこそ通常時から備えられることは強化していくことが大切だと考えています。毎年度、しっかり必要物品を予算化し、経営戦略として取り組んでいくことが重要です。また予算化しなくても、災害時の特別勤務表などアイデアで対策できることもあります。
今後も訓練と検証を重ね、ＢＣＰを強化していきたいと思います。

積極的な講師派遣＆実践発表＆執筆寄稿

エーデル土山では、［介護業界を変えていこう！ ］というスローガンの元、様々な研修に講師を派遣しています。研修内容については、１法人に対する相談から多人数に向けて行う研修まで、主催者や相談者のニーズに合わせた研修を企画しています。これは、私たちの刺激にも繋がりますので、もし、研修や勉強会にお招き頂ければ、全国各地どこでも参上します。お気軽にお問い合わせ下さい。なお、当方で使用している資料なども、ご希望があれば研修の際に無料でお渡しさせて頂きます。研修は事例などを使いながら［実践的］かつ［具体的］な内容を心がけております。

得意分野

人材育成全般に関する研修　／施設における減災対策に関する研修／リーダー養成研修　／介護現場におけるトラブル防止
各種委員会の実践方法／ミーティングの活用術／各種マニュアル、様式の作成法／中間管理職の育成研修
その他、各法人からの個別相談によっての研修

研修・その他の相談に関するお問い合わせ先
社会福祉法人あいの土山福祉会　エーデル土山　　事務局　　廣岡（ヒロオカ）
☎0748-66-1911
✉t.hirooka@edeltutiyama.com

最後までお付き合い下さり、誠にありがとうございました。

この資料を読んで頂いた法人様で少しでも災害対策について参考にして頂ければ幸いです！

またこの資料、発表についてご質問等あれば何時でも連絡をお待ちしております！

0748-66-1911
宇田和弘　／ウダ　カズヒロ

社会福祉法人あいの土山福祉会
©copyright　2015 edeltutiyama all rights reserved

et.
Edel Tutiyama.
Copyright ©Edel tutiyama All Rights Reserved.